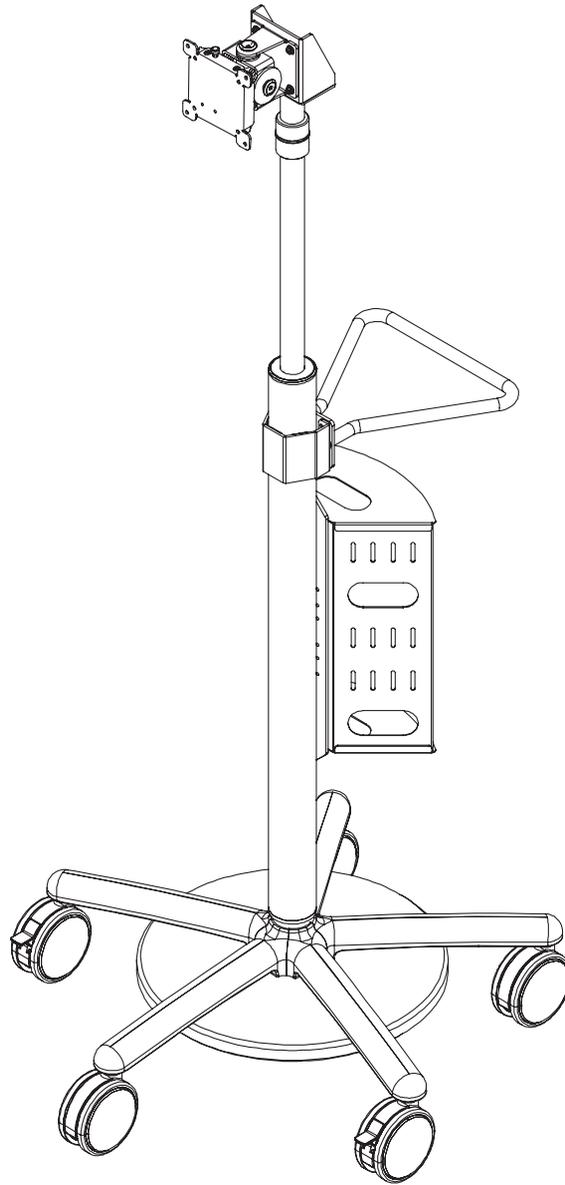


取扱説明書

昇降式モニタースタンド

型番
MS-HPV1600-32A



ご購入いただき、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

目次

- 安全上のご注意 1-2
- 製品概要 3
- 梱包内容 3
- 「キャスト」のロックについて 4
- 「ワンタッチリリース」のモニター側金具を取り外す 4
- 「ワンタッチリリース」のモニター側金具をモニターに取り付ける 5
- モニターを「ジョイントアーム」側金具に取り付ける 6
- 「操作グリップ」によるモニターの高さ調節 7
- 「ジョイントアーム」の角度調節 8
- 「ジョイントアーム」のトルク調節 8-9
- 「スタンド」の移動方法について 10
- 「収納ボックス」の使用方法について 11-12
- 保証書 13

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
---	--

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
 この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。	

⚠ 警告

-  モニターの本製品への取り付け・取り外しする際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、モニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  本製品は耐荷重を定めております。表記の耐荷重を超えた質量のモニターを取り付けると本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  モニターの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。本製品やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  壊れた部品を使用しないでください。本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は、必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒による破損・けがの原因となります。

⚠ 注意

-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
-  本製品の設置については、販売店や工事店にご相談ください。お客様による工事は一切行わないでください。本製品やモニターの破損・けがの原因となります。
-  アーム各関節部のトルク調節は、必ず取扱説明書の手順に従ってください。

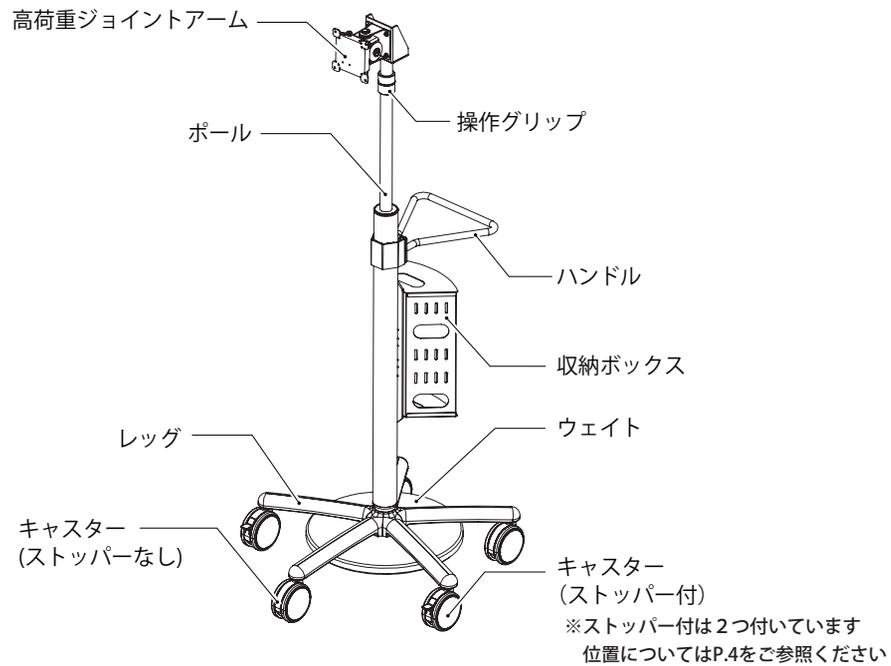
本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<https://www.forvice.co.jp> メール：info@forvice.co.jp

製品概要

昇降式モニタースタンド



型番	MS-HPV1600-32A
質量	約39.6kg
耐荷重	15kg

梱包内容

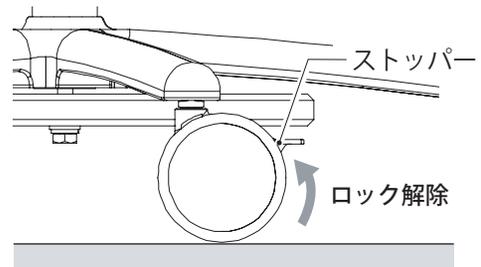
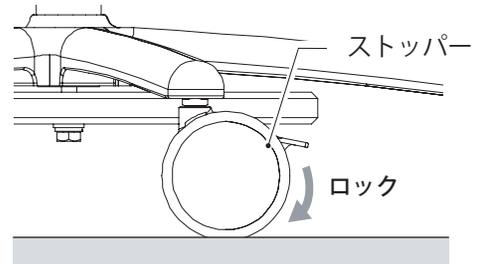
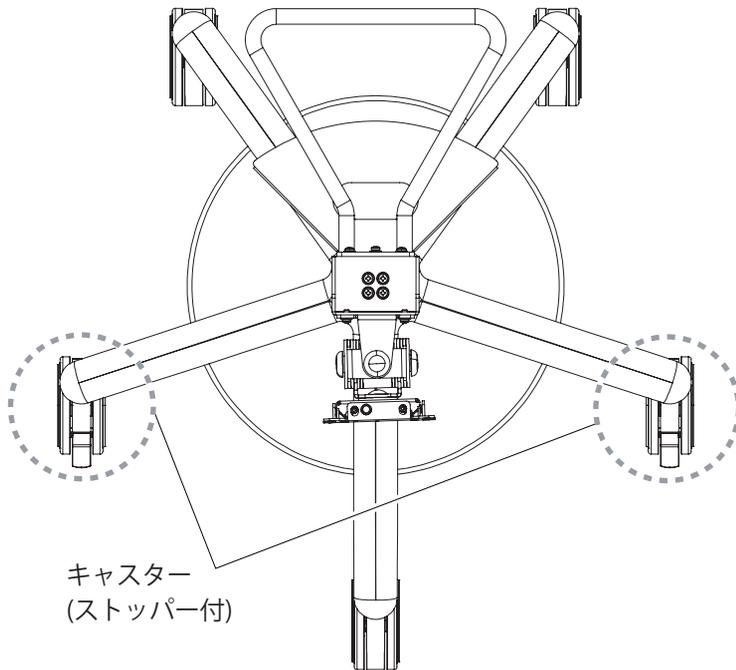
部品・付属品

<p>昇降式モニタースタンド本体 …1台</p>	<p>バインド小ネジ (M4×12) …4本</p>	<p>マジックバンド ストラップ…4本</p>	<p>マジックバンド (機器固定用)…3本</p>
	<p>六角レンチ(対辺5mm) …1本</p>	<p>板スパナ(対辺13mm) …1本</p>	<p>取扱説明書…1部</p>

「キャスター」のロックについて

5本の脚のうち、2箇所の「キャスター」にはストッパーがついているため、モニターの取り付けや高さ調節を行う前に「キャスター」のストッパーをロックし、安定した状態で作業を行ってください。

上から見た図



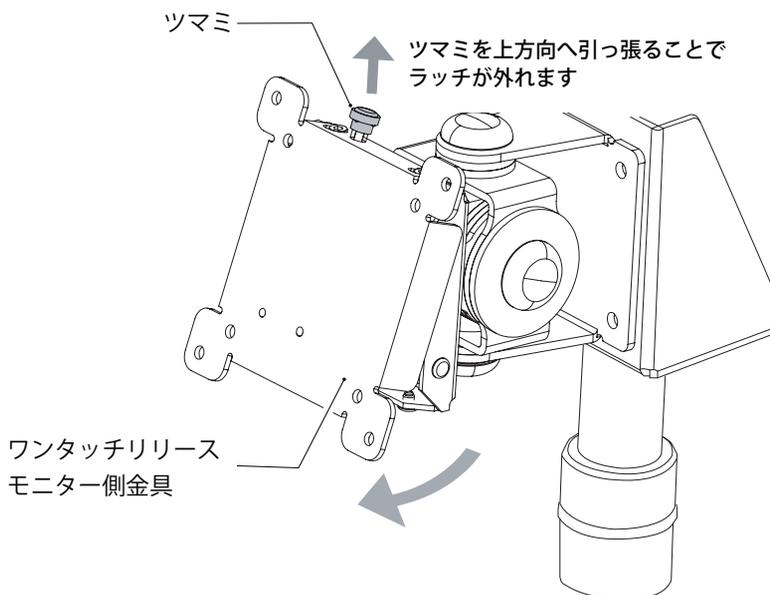
移動時以外は、キャスターをロックしてください。地震などの揺れで、本製品が自走して破損・けがの原因となります。



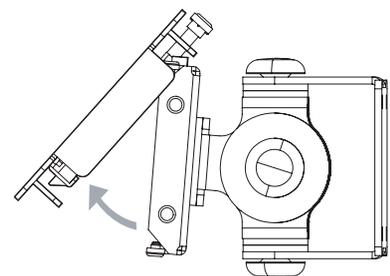
やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒やけがの原因となります。

「ワンタッチリリース」のモニター側金具を取り外す

「ワンタッチリリース」のモニター側金具のつまみを上方へ引っ張りながら、モニター側金具を取り外してください。



横から見た図

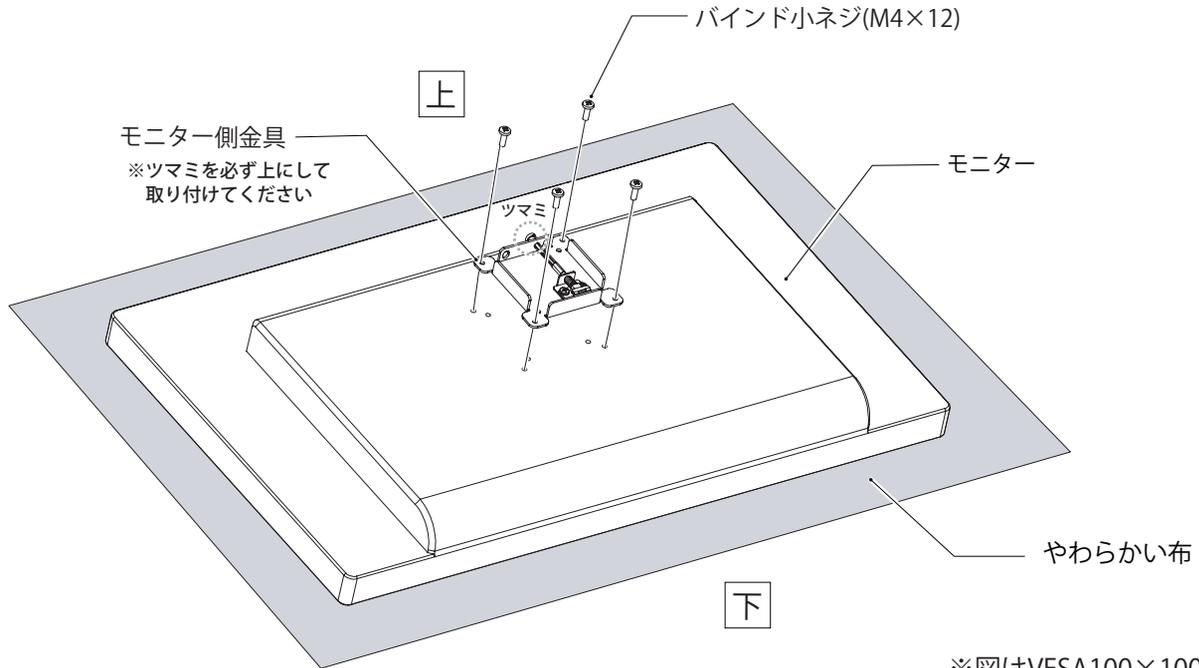


ワンタッチリリースのモニター側金具は外す際少し傾けながら上に持ち上げると簡単に外れます

「ワンタッチリリース」のモニター側金具をモニターに取り付ける

1. モニターは画面を下にした状態で柔らかい布などを敷いた平面に寝かせます。
2. 取り外した「ワンタッチリリース」のモニター側金具を付属の「バインド小ネジ (M4×12)」でモニターに取り付けてください。

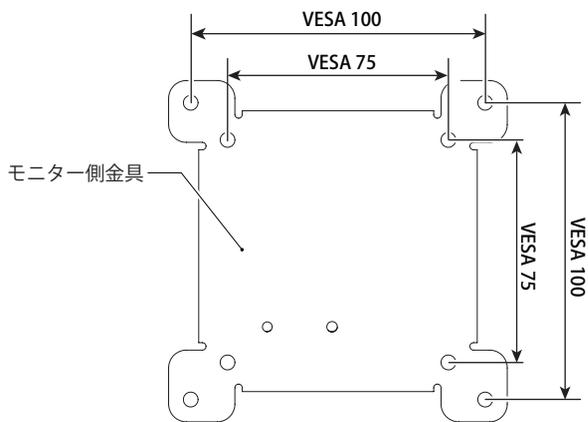
使用する工具
プラスドライバー



※図はVESA100×100mmを想定

モニター側金具の対応VESA

- VESAは75×75mm,100×100mmに対応しています
- お使いのモニターの取付穴を確認し、取り付けてください



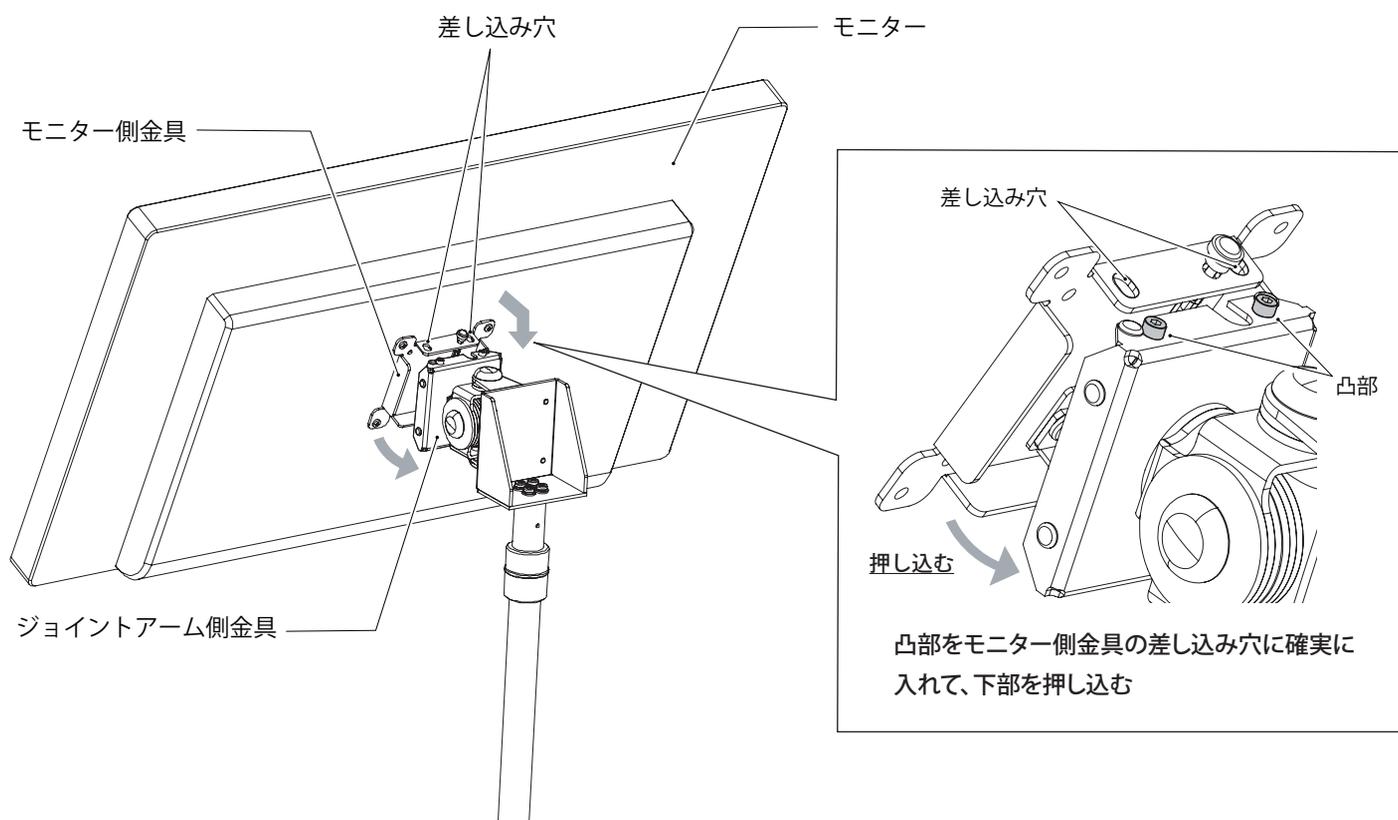
ネジを確実に締め付けてください。
モニターの落下による破損・けがの原因となります。



モニターを寝かせる際は、凹凸のない平らな面に
柔らかい布などを敷いて、取付を行ってください。
画面に異常をきたす原因となります。

モニターを「ジョイントアーム」側金具に取り付ける

モニターに取り付けた「ワンタッチリリース」のモニター側金具を「ジョイントアーム」側の金具に上からはめて、押し込みます。



モニターを取り外す場合

ジョイントアーム側金具からモニターを取り外す場合は本説明書 P.4「ワンタッチリリースのモニター側金具を取り外す」と同様、ツマミを引っ張りながら、斜め上に傾けて持ち上げることで取り外せます。



モニターの本製品への取り付け・取り外しは、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、モニターの落下、破損など事故の原因となります。



ワンタッチの下側を音がするまで押し込み、外れないことを確認してください。



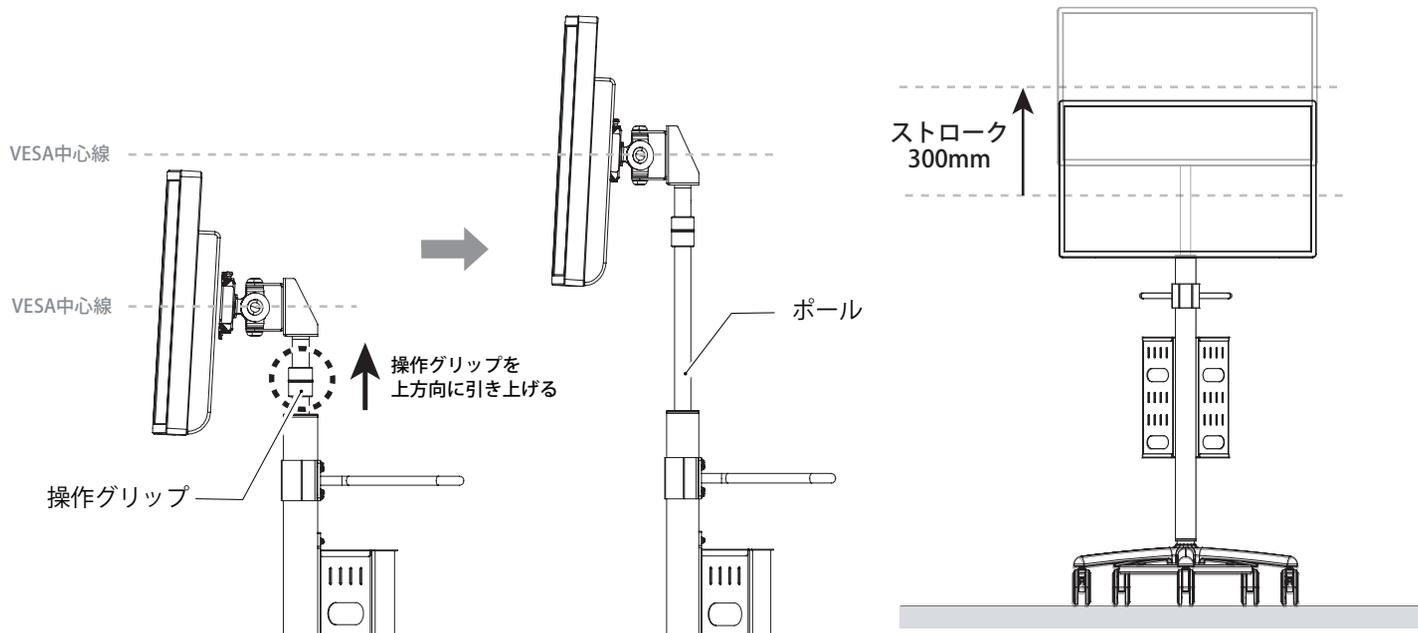
ワンタッチリリース部は360°回転します。モニターの取り外し・取り付けの際はモニターが落下しないよう可動部を押さえつけながら作業を行ってください。

「操作グリップ」によるモニターの高さ調節

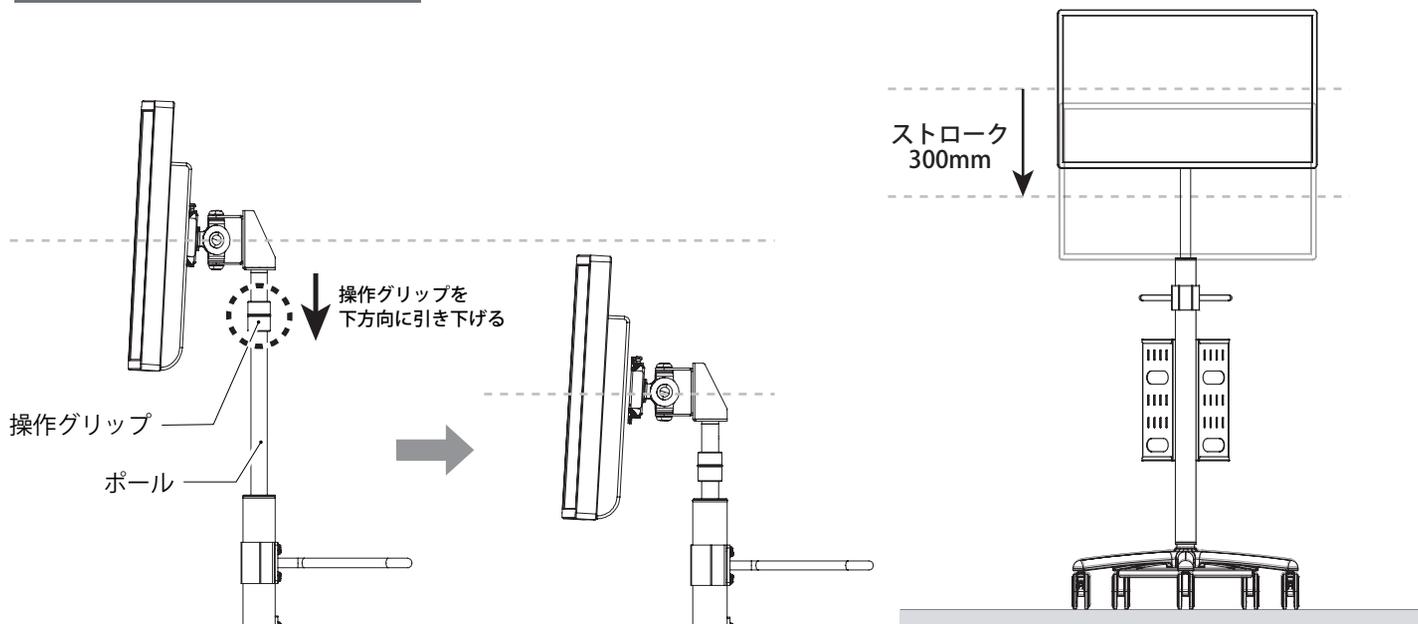
ポールの「操作グリップ」を上下させることで、モニターの高さを調節することができます。「操作グリップ」を離れた位置で固定されます。

※ポールの可動ストロークは300mmです。

モニターの位置を高くする場合



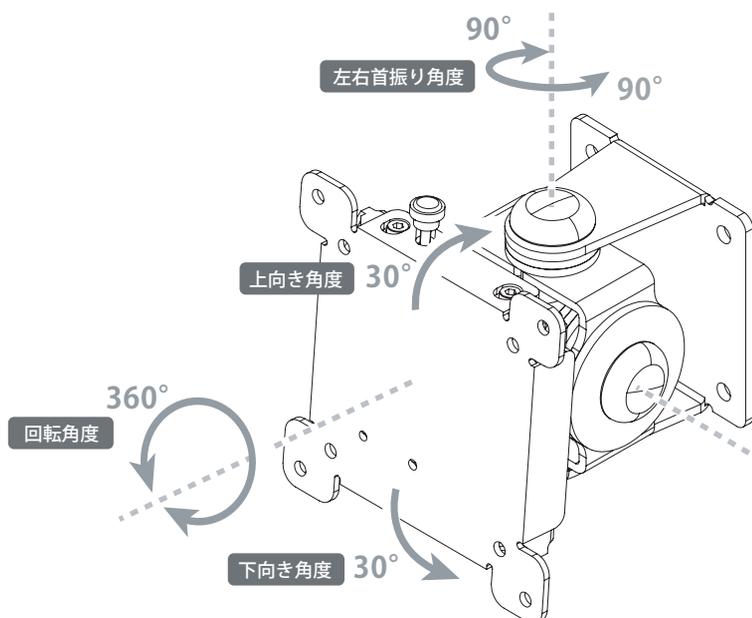
モニターの位置を低くする場合



モニターの高さ調節をする際は、モニターを手でしっかりと保持しながら行ってください。モニターの急激な落下などによるモニターや本製品の破損・けがの原因となります。

「ジョイントアーム」の角度調節

・ジョイントアームはモニターの回転や上下左右の角度調節を行うことができます。



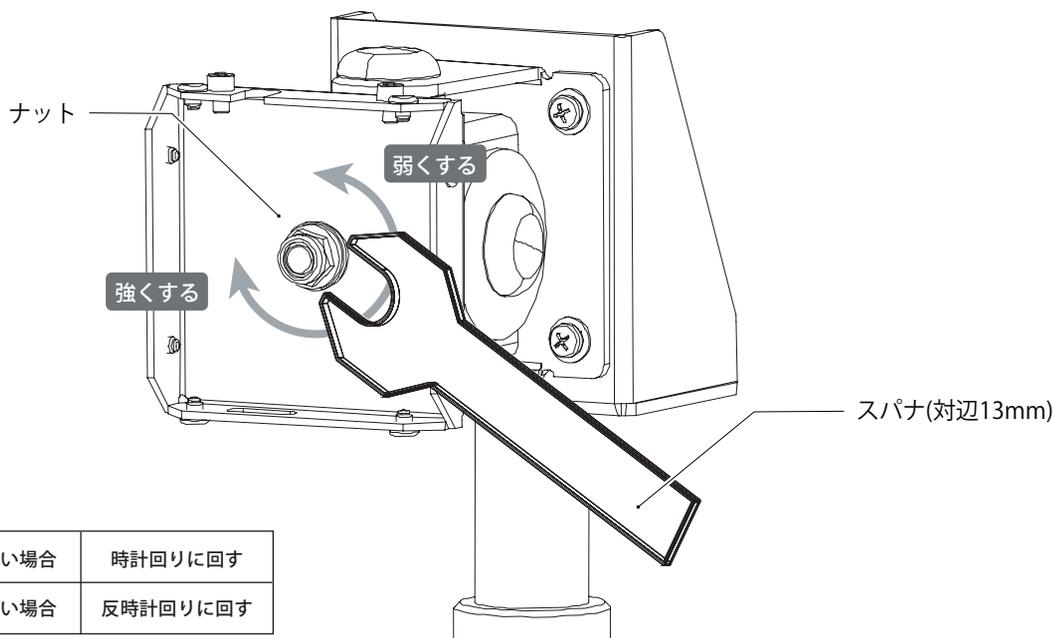
「ジョイントアーム」のトルク調節

回転部の場合

使用する工具

スパナ (対辺 13mm)

回転部のトルク調節が必要な場合はモニター側金具を取り外し、付属品の「スパナ(対辺13mm)」でナットのトルク調節を行います。



トルクを強くしたい場合	時計回りに回す
トルクを弱くしたい場合	反時計回りに回す



調節部は、均一に締め付けを行ってください。均一でない場合、モニターの垂れ下がりが起こる可能性があります。



調節ネジの取り外しは絶対に行わないでください。モニター落下による破損・けがの原因になります。

「ジョイントアーム」のトルク調節

つづき

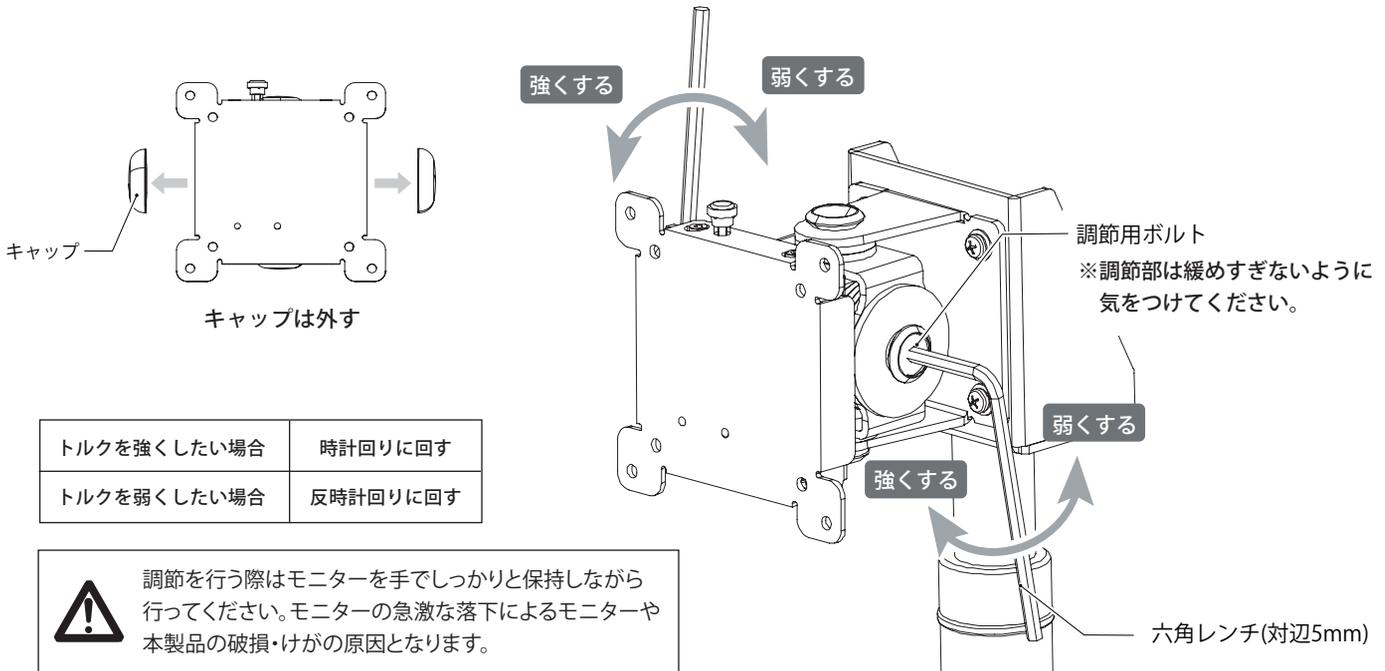
チルト調節の場合

※調節後は、必ず調節部のキャップを付け直してください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 5mm)

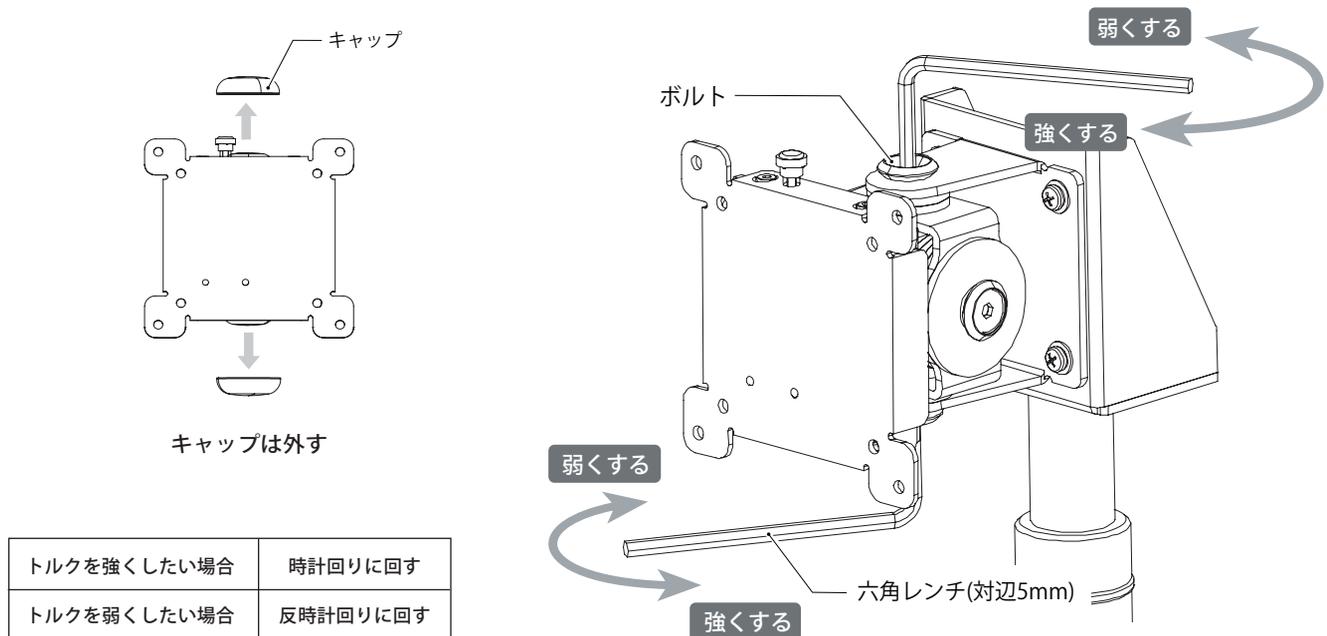
上下のトルク調節を行う場合は調節部のキャップを外してください。
モニターが垂れ下がる場合は、付属品の六角レンチで調節を行います。



左右調節の場合

※調節後は、必ず調節部のキャップを付け直してください。

左右のトルク調節を行う場合は調節部のキャップを外してから、付属品の六角レンチで調節を行います。



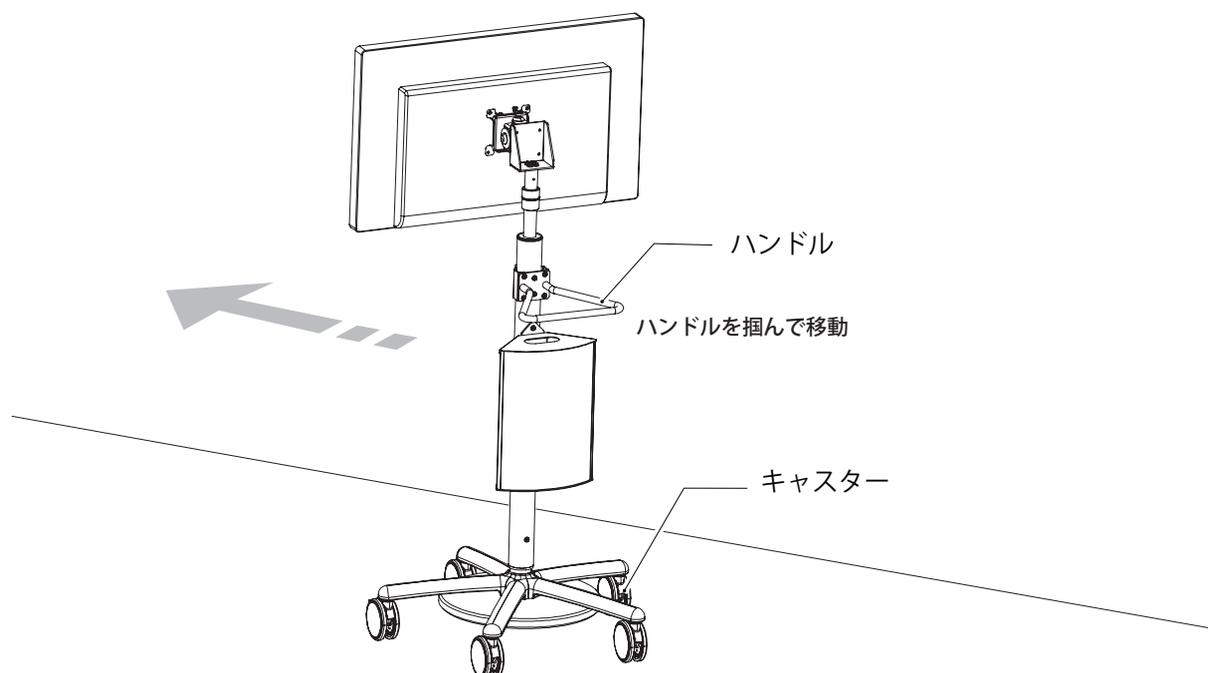
調節部は、均一に締め付けを行ってください。均一でない場合、モニターの垂れ下がりが起こる可能性があります。



調節ネジの取り外しは絶対に行わないでください。モニターの落下による破損・けがの原因となります。

「スタンド」の移動方法について

- ・本製品を移動させる前に「キャスター」のロックを解除してください。
- ・移動する際は「操作グリップ」でモニターの高さを下げた状態にしてから、「ハンドル」を掴んで移動してください。
- ・設置場所では必ず「キャスター」をロックしてください。



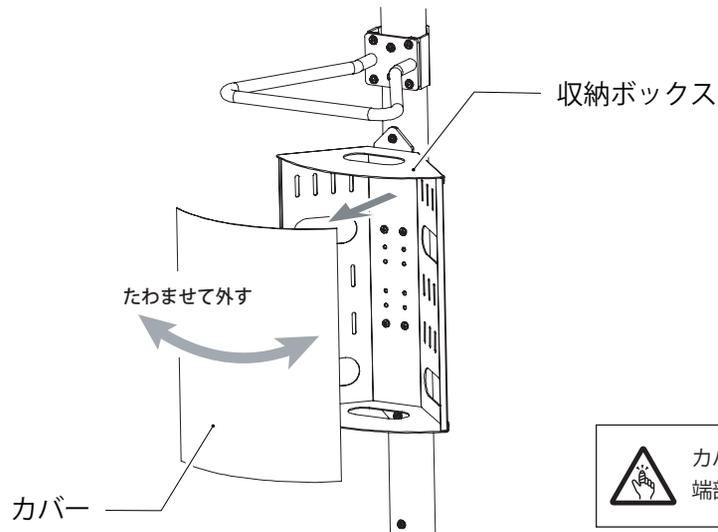
やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒やけがの原因となります。



移動時以外は、キャスターのロックをかけてください。地震などの揺れで、本製品が自走して破損・けがの原因となります。

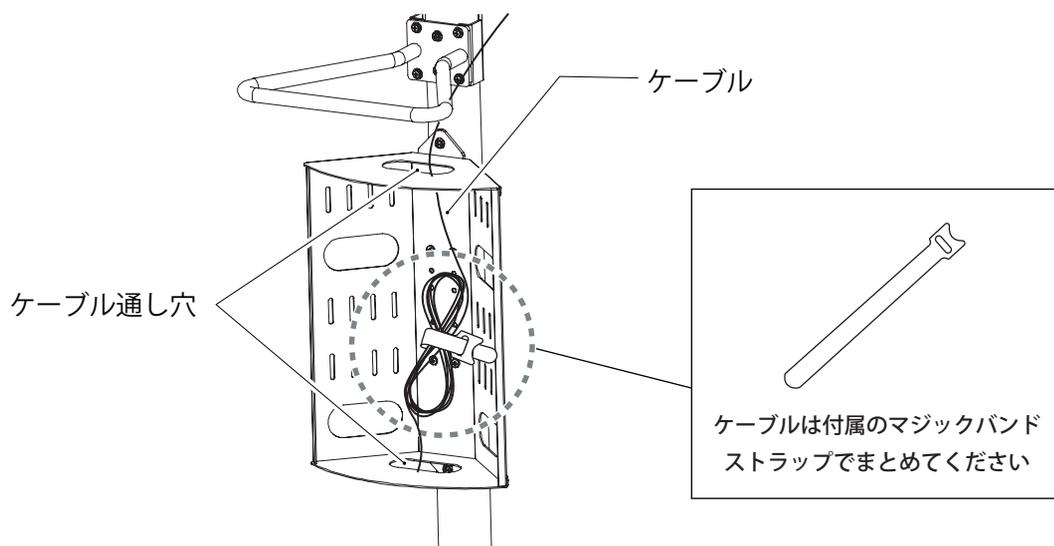
「収納ボックス」の使用方法について

1. 「収納ボックス」のカバーを外します。外す際はカバーを少したわませて、取り外してください。



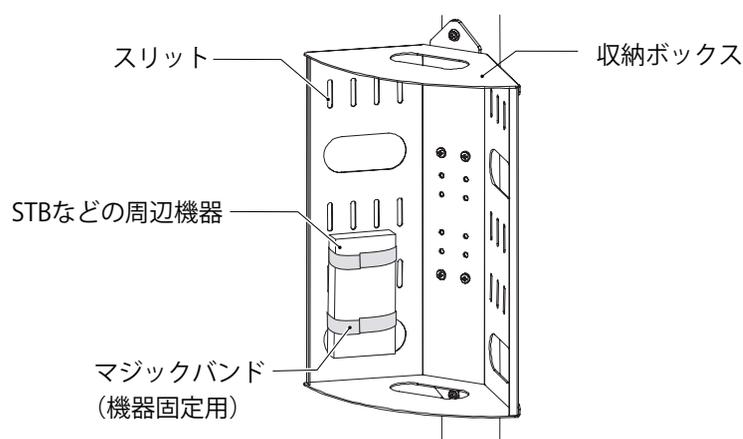
カバーを取り付ける際は、手を挟んだり、端部で手を切らないように気をつけてください。

2. 「収納ボックス(本体)」の上下のケーブル通し穴を出し入れ口として、内部にケーブルを収納してください。ケーブルは付属の「マジックバンドストラップ」でまとめることができます。

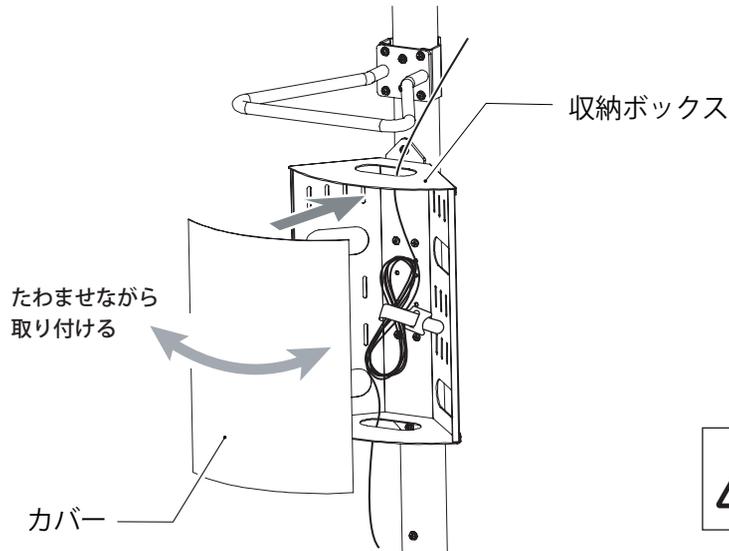


STBや電源アダプターなどの機器を取り付ける場合

付属のマジックバンド(機器固定用)を収納ボックス側面のスリットに通し、機器を固定してください。



3. 機器やケーブルの収納を終えたら、「収納ボックス」にカバーを再度取り付けてください。



カバーを取り付ける際は、手を挟んだり、端部で手を切らないように気をつけてください。